

ふんわり 五七五

60

平成二十二年 二月十五日

広島市立中島小学校



今月のおすすめの句

はるのみちさくらのふくででかけよう
 二年 西山 真未
 まどあけて春風ふわつとやって来た
 二年 花岡 佐妃
 春の風花のにおいがふんわりと
 五年 大津 綾乃
 いつてきますドアをあけるとなごり雪
 六年 川端 美雪

六年生、卒業おめでとう。

皆さん、この一年間「なかしま五七五」に寄稿し、また愛読していただいております。ありがとうございます。

進級、進学しても身のまわりの様子を感じ取り、ことばで表すことを楽しんでください。

【卒業】

さみしいな六年生がいなくなる
 二年 山本 泰士
 六年生そつぎょうしてしまう
 三年 上田 大翔
 はるになるろくねんせいにさようなら
 三年 小田 龍輝

桜咲く春は心もピンク色
 五年 岩田侑津希
 春が来る今年も桜はきれいかな
 五年 宇佐 和華
 さくらの木色とりどりできれいだな
 五年 柏原 大志
 春がきた桜がさいてきれいだな
 五年 久保翔一郎
 桜の花びらばとぽとおちてきれいだな
 五年 斉藤 侑斗
 冬がすぎ春にいつしよに桜さく
 五年 下田 侑佳
 満開の桜がいつぱい咲いてるよ
 五年 細木愛沙美
 春にはね桜が満開きれいだな
 五年 松井 柊
 はるがくるさくらもさいていきぶん
 五年 森永 勲太

【春】

ひなまつりあかりをつけよぼんぼりに
 二年 内田りんか
 あたたかな春がもうすぐやって来る
 二年 丸子 莉佳
 春風が春をキラキラはこんでる
 二年 山本 桃加
 春が来て佐島先生おわかれだ
 二年 岡本 すす
 春だけど花ぶんがとんでくしゃみする
 五年 雨田 理央
 はるのかぜからだにしみてあたたかい
 五年 上田 紗世
 かえりみちたんばの花さいている
 五年 大内 沙羅
 あたたかい南風ふき春が来た
 五年 大野 由樹

学校とさよならするね六年生
 卒業の日沈丁花の香が流れてく
 最高の仲間とともに旅立つぞ

五年 空野 綾萌
 六年 庄司 幹生
 六年 向井 優香

【新学期】

はるになる一年生にこんにちは
 さくらがね一年生をお出むかえ
 ピカピカのいちねんせいが出てくる

三年 林 亮太
 三年 本田 蓮音
 五年 川崎 真斗

春がくるときどきするよクラスがえ
 六年でがんばれるよう努力する

五年 林谷 昂紀
 五年 園部 凌士

【さくら】

もう春だきれいなサクラでてきてね
 はるがくるさくらがさくよたのしみだ
 春になりさくらがひらっキレイだね
 さくらがねもうすぐさくよきれいだね
 はるになるさくらがさいてつくしでる

二年 原田 也冬
 二年 山田 光葵
 三年 島田 妃那
 三年 園部 実沙
 三年 濱井 章仁

はるやすみあともうちよつとたのしみだ

五年 面田 航海

春の風花の香りを運んでる

五年 神谷 史佳

春がきて春休みがねまってる

五年 亀谷 怜司

つくいすがきれいなこえでないでいる

五年 貞弘野々花

はるがきたはなびらがちるきれいだな

五年 高次 祥太

春がきたあたたかくなりらくえんだ

五年 高安 悠雅

春になるいろとりどりの花がさく

五年 檀浦 太一

春がくる生き物たちもでてくるよ

五年 竹添 利奈

つくしがね春の土から顔を出す

五年 中本 尚吾

春が来たおたまじゃくしおよいでる

五年 中山 圭

うぐいすがないたころにはもう春だ

五年 西原 恵介

桃の花春のにおいがしてくるな

五年 沼田雪希音

スイセンが芽をだしている春になる

五年 早川 和志

花びらはちらちらふるよきれいだな

五年 三上 真弥

菜の花があたたかい風よんで来る

五年 宮内 里奈

雨音に春雷轟き冬終わる

五年 毛利 康太

草萌えて春の陽気が見えてくる

六年 坂田空夜奏

なごり雪広島にも降りそそぐ

六年 山床 優太

【その他】

困ったらもつべきものは仲間だね

六年 藤谷 昌範

